

人為が加わって成林した

木曽ヒノキを主とした林

あぶらぎれわ

油木沢ヒノキ希少個体群保護林

設定目的

「人為が加わって成林した、典型的な木曽ヒノキを保護する」ことを目的としています。

地況・林況

御嶽山南東の谷沿いに位置し、人為が加わって成林したヒノキ林として維持管理されてきた樹齢300年を超える木曽ヒノキ個体群です。

ヒノキが優占し、サワラ、ミズナラ、カンバ等から構成される針広混交林となっています。

人為とは…自然の状態に人が手を加えること

シリーズ

中部の保護林(第51回)



所在地
長野県木曽郡木曽町

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612

※詳細は、コードを読み込んでください。

